

いろいろな 賛美

「わたしの口は 賛美に満ち、たえることなくあなたの ががやきを たたえます。」（新共同訳聖書、詩篇 71:8）

聖書には、神様を 賛美するようにつて
書かれているの。それは、神様が わたしたちの 神様であり、
ご自分の子どもたちのために すばらしい ことをしてくださって
いるからよ。¹ 神様が してくださった ことでうれしかった ことや、
1日が 良くなった ことを 伝えれば、
感謝の 気持ちを 表せるわ。

どうやって、神様に 感謝の 気持ちを 伝えるの？

- 祈って 神様に 話す 時、最初に 神様の 良き ことを 感謝する。
- うれしい ことや、元気を くれた ことについて、感謝する。
- 神様の すばらしい 被造物や、家族や 友だちを 感謝する。

賛美や 感謝は、神様に 近づく 一つの方法です。それはまた、
わたしたちをもっと 幸せに してくれます。たくさん の 良い
ことや うれしい ことについて 考えていると、毎日が
とても 祝福されている ことを 思い出すからです。

ほかにも、神様に 感謝を 表す 色々な 方法を 考えて
みましょう。祈りの 言葉で 感謝を 表す以外にも、賛美の
歌を 歌ったり、賛美の 言葉 を 書き記したり、感謝を 表す 絵を
がいたり、それを 実演してみるなど、色々な 楽しい 賛美の
アクティビティが できますよ。それは、毎日の 暮らしに 神様が
もたらしてくださる 良い ことを 思い出すのに 役立ちます。

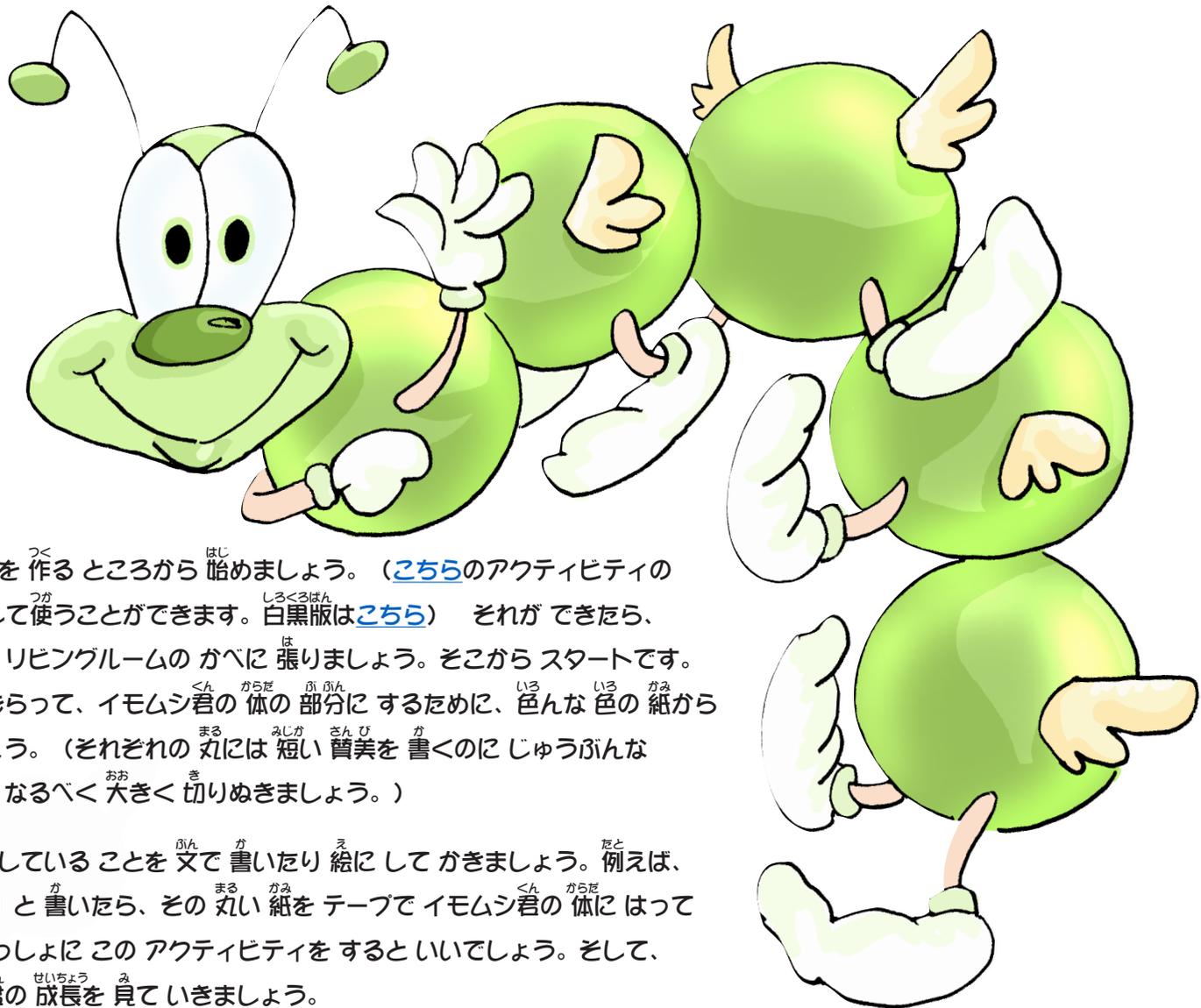
イエス様、ぼくを とても
良く 世話してくださる ことを
感謝します！

う～ん。
神様を 賛美するって、
どう するのかな？



さんび 賛美のアイデア1:

かんしゃ 感謝のイモムシ君



さいしょ、イモムシ君の頭の部分を作るところから始めましょう。(こちらのアクティビティのページから、頭と体の部分を印刷して使うことができます。白黒版は[こちら](#)) それができたら、イモムシ君の頭を、自分の部屋かリビングルームのガベに張りましょう。そこからスタートです。お父さんやお母さんに手伝ってもらって、イモムシ君の体の部分にするために、色んな色の紙から同じ大きさの丸を切りぬきましょう。(それぞれの丸には短い賛美を書くのにじゅうぶんなスペースがあるように、この丸はなるべく大きく切りぬきましょう。)

まいにち、丸い色紙の1枚に、感謝していることを文で書いたり絵に描いてかきましょう。例えば、「イエス様、家族を感謝します。」と書いたら、その丸い紙をテープでイモムシ君の体にはってつなげます。家族もさそって、いっしょにこのアクティビティをするといいでしょう。そして、いっしょにこの感謝のイモムシ君の成長を見ていきましょう。



しゅ かんしゃ、その なをよび、その みわざを もろもろの
たみ なか し れきだいしじょう
民の中に知らせよ。」(歴代志上 16:8)



さんび 賛美の アイデア 2:

さんび 賛美を 絵にする

感謝していることを、絵に書いてみましょう！ すごいアーティストでなくても、このアクティビティはできますよ。必要なのは、想像力だけ。感謝している気持ちを絵にして、紙にかけばいいのです。

感謝していることを思いがけて、それを絵にしましょう。例えば、イエス様が勉強を助けてくれていることを感謝しているなら、学んでいることを絵にして感謝を示せばいいでしょう。その絵を、見える所には張りましょう。そうすれば、絵を見るたびに、神様が良くしてくださっていることを思い出せますね。

今日は、なかなか勉強に集中できなかったけれど、



イエス様が集中力のカギをくれ・・・



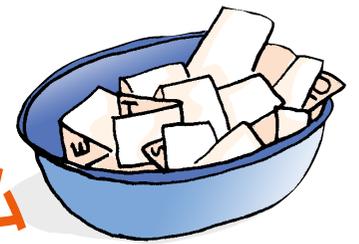
ぼくが集中して勉強を終わらせるのを助けてくれました。



「そしてすべてのことにつき、いつも、わたしたちの主イエス・キリストのみ名によって、父なる神に感謝し、」(口語訳聖書、エペソ人への手紙 5:20)

さんび 賛美の アイデア 3:

さんび 賛美の ジェスチャーゲーム



「いと高き者よ、主に感謝し、名をほめたいえるのは、よいことです。」(口語訳聖書、詩篇 92:1)

演技するのは好きですか？
もしそうなら、家族や友達と
いっしょに、この
さんび 賛美の アクティビティを
やってみましょう。



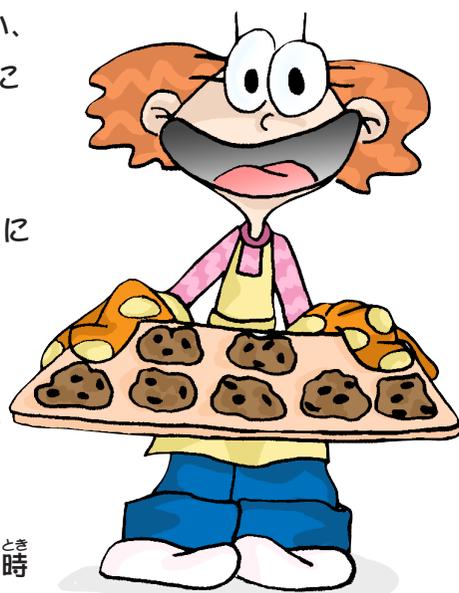
楽しいですよ。まず一人を選んで、その人に、自分が感謝しているものを考えてもらい、それを、言葉を使わず身振り手振りで演じてもらいます。それが何か当てた人は、その主題についてイエス様への短い賛美を言って、次は自分が感謝しているものを演じ、みんなに当ててもらおう番です。そうやって、ゲームを続けていくのです！

感謝していること(例：友情、家庭、おいしい食べ物など)を一つずつ、紙切れに書いておくのもいいでしょう。その紙切れをボウルに入れたら、ゲーム開始です。一人が紙切れを一枚取って、そこに書かれていることを演じ、それが何か、ほかの人たちが当てます。(言葉は使わずにね。)

さんび 賛美のアイデア4:クッキー・サプライズ

このアイデアは、おうちの^{ひと}人に^{てつぽ}手伝ってもらい、^{けいかく}あらかじめ^{さいしょ}計画しておきましょう。^{さんび}最初に、^{かん}賛美に^{せい}関する^{かんしゃ}聖句や、^{きもち}感謝の^{あらわ}気持ちを^{ことば}表す^{れい}言葉(例:

「イエス様の^{さま}愛と^{あい}世話を^{せわ}感謝^{かんしゃ}します」などを、^{まい}12枚の^{ちい}小さな^{かみき}紙切れ(5cmx2cmくらいの^{おお}大きさ)に^か書いて、^{ちい}小さく^お折りたたみましょう。そうしたら、^{ひと}おうちの^{ひと}人と^{いっしょ}に、^{かぞく}家族の^{ため}のための^{つく}クッキーを^や作りましょう。クッキーを^ま焼く^{まえ}前に、^{なか}それぞれのクッキーの^{ちい}中に、^お小さく^お折りたたんだ^{かみき}紙切れを^{いちまい}1枚ずつ、^{ちゆうい}注意深く^{かく}かきましょう。



クッキーが^や焼けたら、^さ冷まして、^{かぞく}家族が^{あつ}集まる^{とき}時
(例: ^{れい}食事の^{しよくじ}後や、^{あと}何が^{なに}いっしょにする^{とき}時など)のために
と^と取っておきましょう。みんなが^{あつ}集まったら、^{さんび}賛美のクッキーを
^だ出します。クッキーを^た食べる^{まえ}前に、^{ひとり}一人一人が、^{はい}入っていた
^{せい}聖句や^{さんび}賛美を^よ読むのです。(だれかが^{なが}うっかり中の
^{かみ}紙を^た食べてしまわないように、クッキーの^{なか}中に^{かみ}紙が
^{はい}入っていることを^し知らせておきましょう。)



^{しゅ}「主よ、わたしは^{こころ}心をつくしてあなたに^{かんしゃ}感謝し、あなたを^{うた}ほめ歌います。」
(^{こうごやくせいしよ}口語訳聖書、^{しへん}詩篇 138:1)

さんび 賛美のアイデア5:

いと いす取りゲーム



^{さんび}賛美の^{うた}歌?
ああ、^{おも}思い出したわ。
「主を^{しゅ}ほめよ・・・」



^{きゃくちゆう}脚注:
1 ^{しんめい}申命記 10:21を^よ読んでね。

いすを、^{そとがわ}外側向きに^わ輪に
ならべます(いすは^{ひと}人の^{かす}数より
^{ひと}1つ^{すく}少なく)。音楽を^{おんがく}かけ、^{かがり}係の
^{ひと}人が^{てきとう}適当な^{とこ}ところで^と止めます。
^{おんがく}音楽が^と止まったら、みんな、^{さつと}さつと
いすに^{すわり}すわります。すわれなかつた
^{ひと}人は、^{みじか}短い^{かんしゃ}感謝の^{いの}祈りを^い言って、
^{さんび}賛美の^{うた}歌を^{うた}歌います(みんなも
いっしょに)。または、^{かみさま}神様への
^{さんび}賛美についての^{いんようく}引用句が^{せい}聖句を
いいます。その^{ひと}人は^わ輪から^ぬぬけ、
いすも^{ひと}1つ^へ減らして、^{おな}同じように
ゲームを^{つづ}続けます。^{ぜんいん}全員が^{いす}いすに
^{すわり}すわりそこねて^{さんび}賛美を^い言うまで、
^{つづ}続けます。

^{しゅ}「主の^{せいと}聖徒よ、主を^{しゅ}ほめうたい、その^{せい}聖なる^なみ名に^{かんしゃ}感謝せよ。」
(^{こうごやくせいしよ}口語訳聖書、^{しへん}詩篇 30:4)

文:シャナ・ランドン 絵:エヴァンジェリン デザイン:ロイ・エバンス
出版:マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2019年、ファミリーインターナショナル
“Many Ways to Praise”-Japanese
関連の読み物はこちら ⇒ 子供のアクティビティ、賛美と感謝